

令和6年度 第4回 名桜大学研究倫理審査委員会 議事要旨

1. 日 時：令和6年8月28日（水）15：00～15：50
2. 場 所：環太平洋地域文化研究所 研修会議室
3. 出席者：永田美和子委員長、仲尾次洋子国際学部長・国際学部会長、大城凌子人間健康学部長、グレッジ美鈴看護学研究科長（博士後期課程）、花城和彦看護学研究科長（博士前期課程）、奥本正スポーツ健康科学研究科長（修士課程）、小嶋洋輔研究所長、木村安貴人間健康学部会長、池原秀人事務局長、
4. 欠席者 嘉納英明国際文化研究科長（国際地域文化システム専攻修士・博士課程）、矢野恵美外部審査委員（国立大学法人琉球大学法科大学院教授）、満名悦子外部審査委員（沖縄県民生委員児童委員協議会理事）
5. 陪 席 仲榮眞修地域連携研究推進課長、屋部藍華地域連携研究推進課係員、比嘉真恵美地域連携研究推進課係員
6. 議事  
議事に先立ち、永田委員長より定足数の確認がなされた後、開催宣言が行われた。

【審議事項】

(1) 研究倫理審査について

永田委員長より、資料に基づき国際学部国際観光産業学科教員の研究計画書（1件）の審査について説明があり、審議の結果、2024-011-1 について承認となった。

木村委員より、資料に基づき人間健康学部看護学科教員の研究計画書（1件）の審査について説明があり、審議の結果、2024-012-1 について、委員から、①第三者を介して募集、同意取得を行うとあるが、第三者（第三者とはどなたですか。ユースフレンドリーに關与していない第三者とは？）説明および同意を得るための方法について（説明の依頼内容と方法）研究計画書へ追記と同意の取り方について追記すること、②研究課題名の中で、大学生の何のプロセスか明記すること、指摘事項を修正し、永田委員長、木村部会長による審査資料の確認後、承認とすることが確認された。また、研究の質の担保の観点から、グループインタビューと個別インタビューを統合して分析すると論文投稿時に不採択のリスクがあることの見意があった。

結果については、下表のとおり。

受付番号	研究課題名	受理日	審査委員会承認日	判定
2024-011-1	台湾会計基準設定主体の役割に関するインタビュー調査研究	令和6年7月3日	令和6年8月28日	承認
2024-012-1	大学と地域が協働する「ユースフレンドリー」なSRHRケアモデルの構築 — SRHR に自主的に取り組む大学生のプロセスを通して見えてきたこと —	令和6年7月17日	令和6年8月28日	承認

## 【依頼事項】

### (1) 倫理審査の判定について

永田委員長より、資料に基づき倫理審査の判定について説明があり、審議の結果、委員からの意見を参考に判定基準等の整理をし、次回の委員会で判定の見直しをする方向で継続審議していくことが確認された。

意見：・変更の勧告を再審査とする。

- ・承認、条件付承認、再審査（研究計画書に大幅な修正があり、根本的に計画を変更する場合がある。）不承認、非該当とする。
- ・条件付承認：持ち回り審査。

再審査：ヒヤリング時の確認内容に対して明確に回答できない。修正が多岐に渡る場合は審査部会で再審査をする。

研究計画に大幅な修正がある場合、審査部会の指摘に従い計画の変更を行い、修正した申請書類を再提出する。提出された書類を持って審査部会で再審査をする。

## 【報告事項】

### (1) 審査申請状況について

地域連携研究推進課より、資料に基づき報告がされた。

- ・国際学部審査部会研究倫理審査 審査状況  
(7月) 審査部会審査1件(結果：承認1件)
- ・人間健康学部審査部会研究倫理審査 審査状況  
(7月) 審査部会審査1件(結果：承認1件)

## 【その他】

### (1) 令和6年度第3回研究倫理審査委員会議事要旨について

令和6年度第3回研究倫理審査委員会議事要旨について承認がされた。